

平成19年度 事務事業評価表						
(様式1)						
記入年月日	平成19年5月11日		記入者		連絡先	252
平成18年度部名	企画部		課名	相模湖町地域自治区事務所地域振興課	課長名	榎本昭雄
平成19年度部名	市民活力推進部		課名	相模湖町地域自治区事務所	課長名	榎本昭雄
事務事業名	相模湖町地域協議会					
予算上の事務事業名	地域自治区運営事業費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード			
基本目標	#N/A					
政策名	#N/A					
基本施策名	#N/A					
施策名	#N/A					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
地方自治法、市町村の合併の特例に関する法律 相模原市、津久井郡津久井町及び同郡相模湖町の廃置分合に伴う地域自治区の設置に関する協議について						
3 個別計画の概要			概要			
計画名	なし					
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	審議会・委員会・協議会			5 事業開始年度	平成18年度	
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)	
津久井地域の歴史や文化などの特色を生かしつつ、新市における一体的なまちづくりを円滑に進めるための経過措置として、地域自治区を設置し、市民の声を行政に反映させる仕組みを確保するとともに、市民と行政の連携・協働による住民自治を推進する。					協議会委員	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
地域協議会の開催・・・年間13回開催、延べ231人出席 その他の活動・・・市計画策定にかかる現地踏査研修(12人参加) 地域協議会主催による講演会の開催 講演名「新 相模湖まちづくり講演会」 講師 衆議院議員、早稲田商店会会長 安井潤一郎さん 参加者37人(うち協議会委員14人出席)						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
8 事業費の推移 [単位:千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	3,804	7,451	7,451	
一般財源	0	0	3,804	7,451	7,451	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	16,100	16,100	16,100	
事業コスト合計	0	0	19,904	23,551	23,551	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	相模湖町地域協議会			対象名称 と単位	1回あたり	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	850	958	958	
対象数	0	0	231	320	320	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	3,680	2,994	2,994	
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	0.81	1.00	

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	地域協議会の開催回数	指標式と指標の説明	開催回数 / 開催予定回数 × 100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	13.0		
目標	0.0	0.0	12.0	12.0	12.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	108.3		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	地域協議会への出席率	指標式と指標の説明	述べ出席者数 / 年間予定出席者数 × 100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	231.0		
目標	0.0	0.0	240.0	240.0	240.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	96.3		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]	: 良好な状態を維持する事業			
	[]	: 概ね良好な状況である事業			
	[]	: 見直しを行う必要がある事業			
	[]	: 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		18年度相模湖町地域協議会を実施し、当初は内容の把握を重点に進めてきました委員の皆さんも理解をし、今年度は2年目でまちづくりに対する内容の充実が期待できる。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
政令市に向けて先進地の視察研修を進めたい。			協議会としての理解はされてきたが、まだ一部に生活に密着した要望をもっている。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			